

Sustainable Co-Innovation Accelerator program

SCIアクセラレータープログラム

社会課題の解決をテーマに
企業とソーシャルセクターが連携し
イノベーションを共創するプロジェクト



Sustainable
Co-Innovation
Forum

SCI (Sustainable Co-Innovation) Forum

サステイナブル コ・イノベーション フォーラム

SCIアクセラレータープログラムは、

社会課題やSDGs等への取り組みを通じ、
ソーシャルセクター／社会起業家と共に
イノベーションを創出するプロジェクトです。

なぜいま、SDGsなのか？イノベーションに繋がる理由は？

企業にとってのSDGsとは、無視することはできない「リスク」を突きつけるものであると同時に、
未来の市場を創造・獲得するための「機会」でもある。（経済産業省制作 SDGs経営ガイドより）

新事業開発
新市場創出
イノベーションの創出
CSV

社会課題に取り組むことは、新しい市場創造／新規事業開発に他なりません。これまで経済合理性がなかった分野においても、新しいテクノロジーや概念、ビジネスモデルによって、多くのイノベーションが生み出されてきています。
ESGやSRが重視される経営環境の急激な変化、そしてテクノロジーの進化がこれまでの常識を塗り替えていく今こそが、イノベーションが生まれるタイミングだといえます。



持続可能性／SDGsを
企業活動に組み込む
ための具体的な戦略、
社内推進

社会に持続可能が求められる中、個人や企業の在り方も大きく環境が変わりつつあります。
世界がセクターを超えSDGsで一つの活動として社会課題に取り組んでいます。
企業においては、働き方改革をはじめとした様々な課題を個別に対応するのではなく、SDGsという共通言語で社内外／部門の垣根を越え、企業全体を一つの取り組みとして推進していくことが不可欠です。



企業の様々なテーマを、1つのプロジェクトに乗せていく

SCIアクセラレータープログラムを活用することで、企業が持つ多岐に渡る課題と
イノベーション創出への取り組みを、1つのプロジェクトとして社内実装していきます。

テーマ例	働き方改革 ダイバーシティ 採用・離職防止	デザイン思考 次世代リーダー育成 ティール組織	PR CSR ソーシャル ブランディング IR	新規事業開発 社内ビジコン イントレプレナー育成
担当部門 (予算)	人事、労務	人材育成 教育	広報、CSR	経営企画室

課題 Issue

組織や予算が縦割りで、結果や相乗効果を出しにくい

SDGsを用いることで、目的と言語を共通化

SCIアクセラレータープログラムは、プロセスや目的を統合した取組みに変えることが可能です。

社会課題解決/SDGsを、企業活動や事業開発に実装するプロセス

情報収集



企業と社会との関係性を知り、社会課題解決分野に取り組むの人達との接点／機会を創出。
世界と日本の動向、国や自治体、企業取り組みの事例を元に置かれている環境や期待されていることを把握する。

社内検討

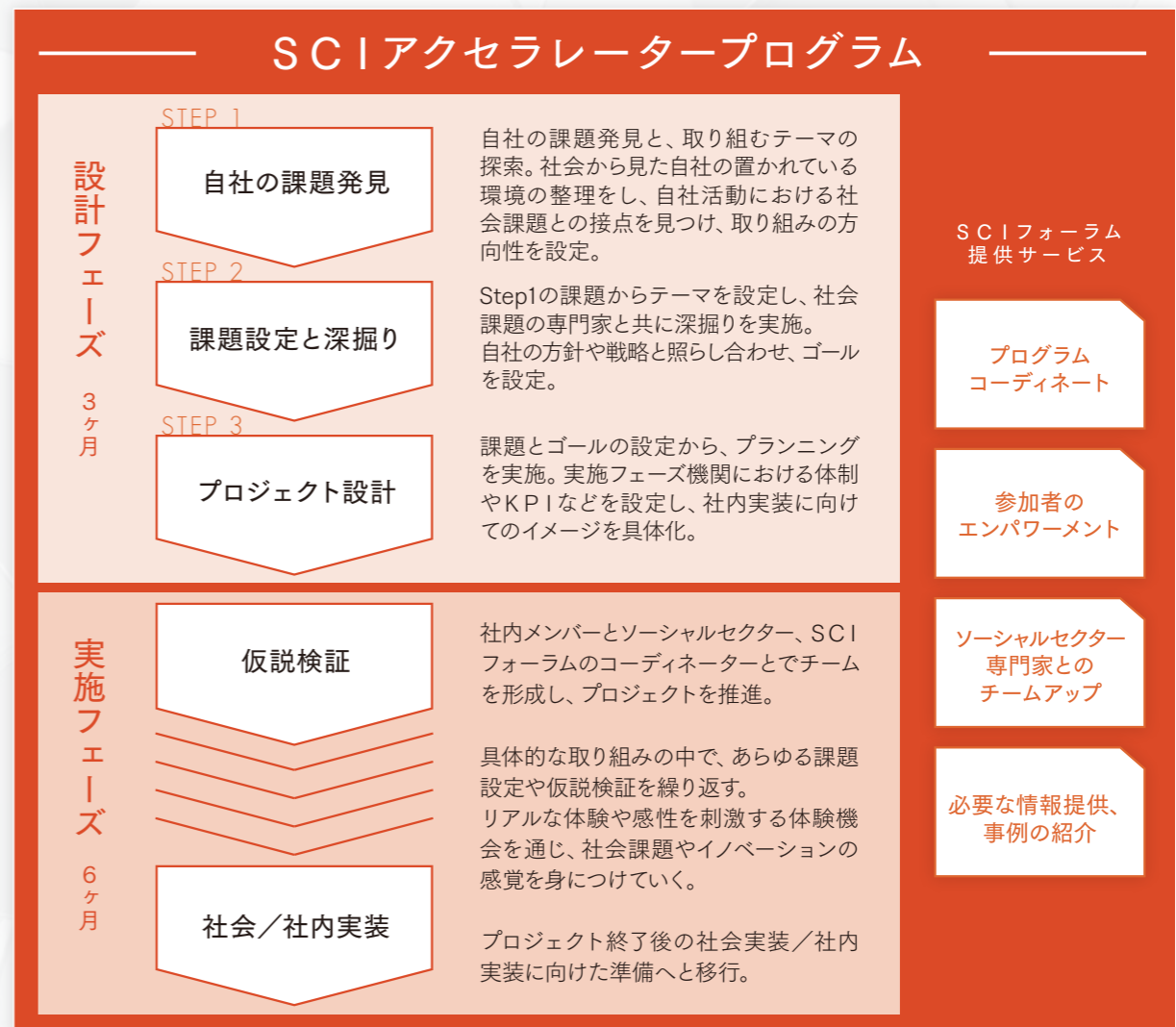


自社導入を前提とした具体的な活動／目的の検討。
企業／組織の課題整理と実施を行うための展開イメージを具現化。

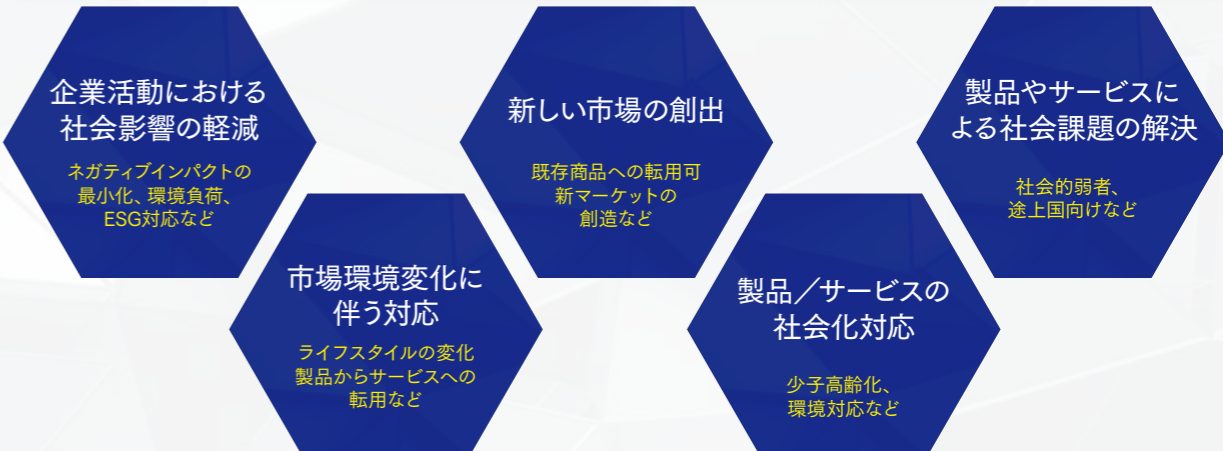
SCIフォーラム提供サービス

- オープンセミナー (SCI Meet-Up)
- 情報収集 / 事例活用
- 交流会
- 共同調査 プロボノ参加
- 担当者勉強会 (SCI CAMP)
- 個別相談 社内推進支援
- 社内勉強会 SDGs研修の実施
- 事例、見学 ヒアリング

共創プロジェクトの実施



共通価値の創造
アウトプット



SCIアクセラレーター プログラム費用

設計フェーズ	課題を整理し、自社で取り組むべきテーマを見つけます (3ヶ月)	60 万円 (税別)
実施フェーズ	チームを形成し仮説検証を繰り返し、実装に向けて取り組みます (6ヶ月)	180 万円 (税別)

(2019年6月現在)

- ・このプログラムは、企業側が主体となって推進するプロジェクトのハンズオン支援を行うものです。
- ・資料作成や調査など、具体的な作業等については別途費用が発生することがあります。
- ・1企業につき1テーマの費用となります。
- ・実施期間を大幅に超過する場合には、フェーズの金額を月数で割った費用が追加で発生します。
- ・企業内でのチームづくりは5~10名程度が理想ですが、テーマにより異なります。
- ・原則、実施企業の施設やリソースを利用し、交通費・宿泊費は別途となります。
- ・情報提供や勉強会がベースとなるため、一般/運営会員向けのプログラムとなります。
- ・予告なくサービス内容や価格に変更がある場合がございますので、ご検討の際はご相談ください。

SCIフォーラムへの参加方法と提供サービス

SCIフォーラムへの参加方法

ゲスト参加

オープンセミナー(SCI Meet-UP)など、一般参加が可能なイベントには、有料にて参加いただくことができます。ニュースレターにご登録ください。

一般会員参加

年10万円 (税別)

相談や検討などについて具体的に取り組みたい企業様向けに年間有料サービスを提供いたします。担当者のための勉強会(SCI CAMP)や相談窓口を利用できます。

運営会員参加

年100万円 (税別)

SCIフォーラムを共に運営していく運営会員です。一般会員では得られないような最新の情報や事例を得ることが可能で、運営の立場だから可能なネットワークにアクセスすることができます。

SCIフォーラムの提供サービス

ニュースレター

情報提供媒体

導入相談

各種研修

ハンズオン支援

連携・推進の相談

私たちは、企業と社会課題、ソーシャルセクターとの橋渡しをし、協働・共創のできる環境をつくり推進役を担います。ぜひ、お気軽にご相談ください。

運営団体



一般社団法人SCIフォーラム

会社は何のために存在するのでしょうか。

会社の使命は、「社会の課題を解決するためにイノベーションを興し、持続的に行動し続ける」ことではないでしょうか。

実際に多くの会社が、自分たちは「社会の公器」であると考え、社会の諸問題解決に向けて日々奮闘しています。

ただ、現実を見れば、未解決、手付かずの社会課題が山積しており、その中には企業活動から生じるものもあるというのが実態です。そして、NPO等の様々なソーシャルセクターが、そのような社会の諸問題に立ち向かっていることも忘れてはいけないことだと思います。

どの会社も、どのソーシャルセクターも、この社会・地球をよくしたい、持続可能な社会を創造したい、という思いは同じはずです。

SCIフォーラムは、各企業、個々のセクター・個人の枠を超えて「つながり、互いに啓発しあうことで、まだまだ解決されていない社会の課題に「気づき」、「イノベーション」を興すきっかけをつくる場を提供したいと、考えています。

理事・監事 (※50音順)

- 代表理事 犬塚 力 (トヨタファイナンシャルサービス株式会社 常勤監査役)
- 理事 新井 和宏 (株式会社eumo 代表取締役)
- 出原 遠宏 (ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部 部長)
- 市野 恵 (NPO法人地域福祉サポートちた 代表理事)
- 岩原 明彦 (株式会社デンソー キャリアパートナー)
- 柴田 朋子 (JUNO代表 キャリアコンサルタント)
- 豊岡 敬子 (一般社団法人ワークライフバランス東海 理事)
- 中島 康滋 (イノベーションファクトリー株式会社 代表取締役)
- 原田 さとみ (NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク 前代表/理事)
- 毛受 芳高 (一般社団法人アスパシ 代表理事)
- 監事 小田切 須美 (中日本高速道路株式会社 総務・秘書チームリーダー)

お問い合わせ

scif.jp

SCIフォーラム



一般社団法人SCIフォーラム
〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町8-5 東館3階
(イノベーションファクトリー株式会社内)